



— 統計データ利活用促進及び地域農林水産統計データ分析を目的に発行 —

「食料自給率について」



食料自給率は、国内で消費される食料のうち、国内生産で賄われる割合を示す指標です。供給熱量ベース（カロリーベース）（令和6年度38%）や生産額ベース（令和6年度64%）で算出され、日本は輸入依存度が高い状況です。

自給率の向上は、食料安全保障や農業の持続性確保に不可欠な課題です。令和7（2025）年4月に閣議決定した「食料・農業・農村基本計画」では、令和12（2030）年度を目標年度とする総合食料自給率を、供給熱量ベース45%、生産額ベース69%と定められました。

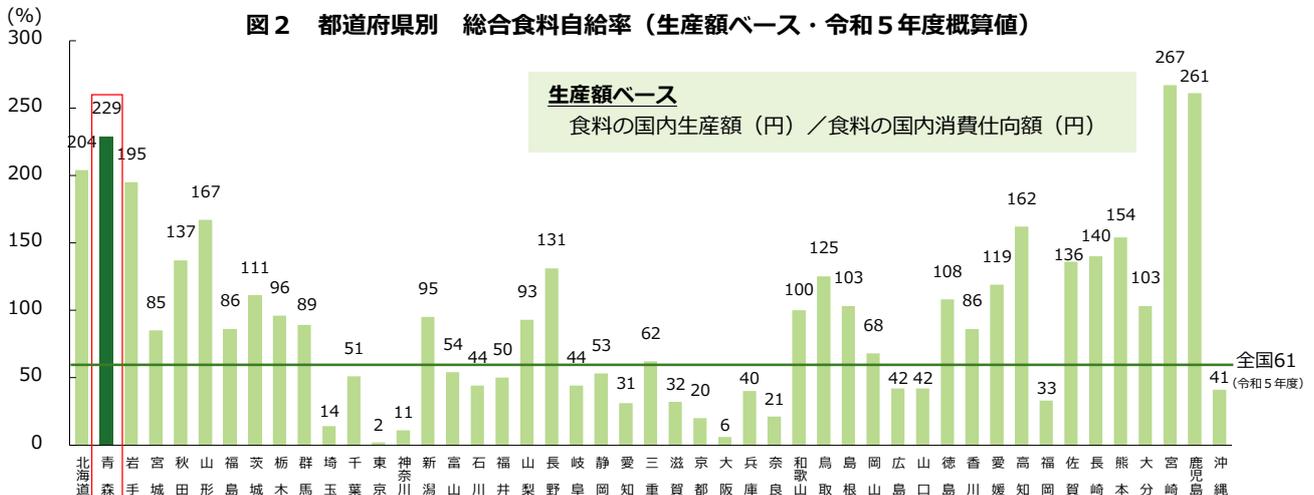
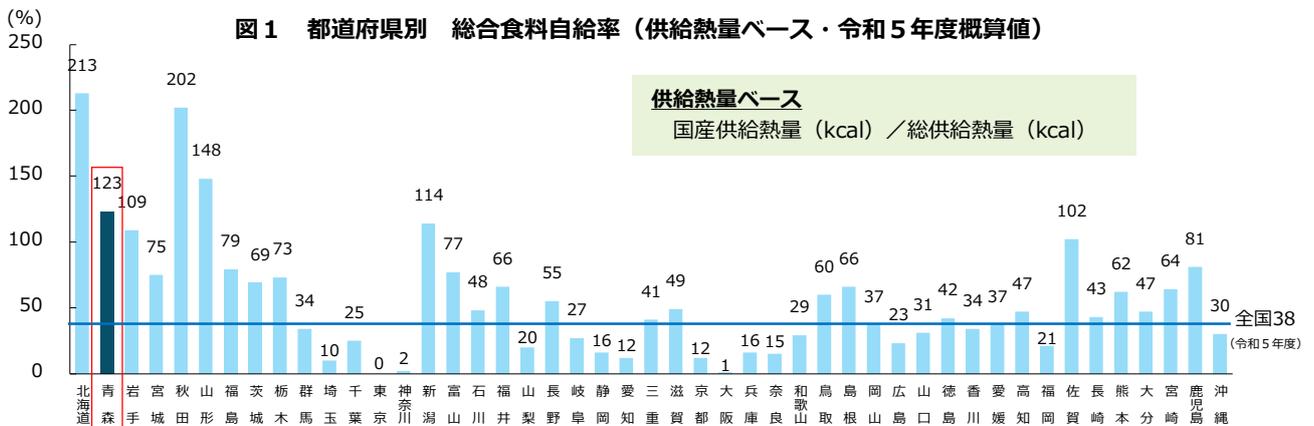
注：最新の公表値は「全国：令和6年度」「都道府県：令和5年度（概算値）」

○令和5年度 総合食料自給率（都道府県上位）

- ① 供給熱量ベース総合食料自給率 1位 北海道213% 2位 秋田県 202% 3位 山形県148%
- ② 生産額ベース総合食料自給率 1位 宮崎県267% 2位 鹿児島県261% **3位 青森県229%**

○令和5年度 総合食料自給率（青森県）

- ① 供給熱量ベース総合食料自給率 **123%**（全国4位 東北3位）
- ② 生産額ベース総合食料自給率 **229%**（全国3位 東北1位）



注：都道府県別食料自給率については、
 1. データの制約から、各都道府県の生産・消費の実態を十分把握できていない部分があります。
 2. 各地域の自然・社会・経済的な諸条件が異なっていることから、その水準を各都道府県間で単純に比較できるものではないことに留意願います。
 出典：農林水産省「食料自給率」（図1・2）



青森県における総合食料自給率の推移

供給熱量ベースの総合食料自給率は、全国が40%前後で推移しているのに対して、青森県は冷害の影響で米の収穫量が減少した平成15年度に84%まで下降したものの、120%前後で推移しています（図3）。

生産額ベースの総合食料自給率も、全国が平成23年度以降、60%台で推移しているのに対して、青森県は供給熱量ベース同様、平成15年度に176%まで下降したものの、平成16年度以降は200%台で推移しています（図4）。

これは、米、野菜、果実などの農産物で収穫量の多い品目が数多くあることが要因のひとつと考えられます（表）。

図3 総合食料自給率の推移（供給熱量ベース）

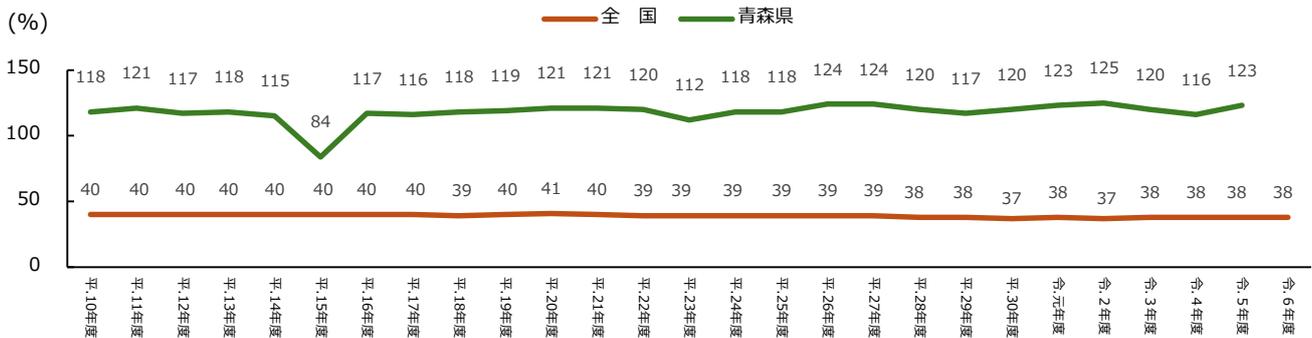
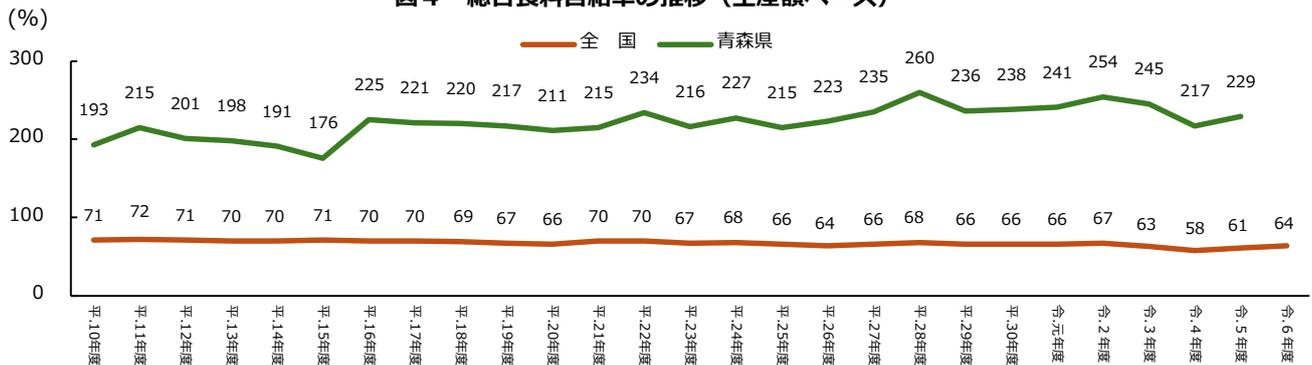


図4 総合食料自給率の推移（生産額ベース）



注：青森県の令和5年度の値は概算値である（図3・4）。

出典：農林水産省「食料自給率」（図3・4）

表 品目別農産物収穫量の全国順位と青森県産の占める割合（令和6年産）

米（主食用）

青森県割合 **3%**

- 1位 新潟県 543,500t
- 2位 北海道 495,500t
- 11位 青森県 231,800t

にんにく

青森県割合 **66%**

- 1位 青森県 11,700t
- 2位 北海道 1,000t
- 3位 香川県 509t

ごぼう

青森県割合 **40%**

- 1位 青森県 46,700t
- 2位 茨城県 12,900t
- 3位 北海道 9,970t

やまのいも

青森県割合 **30%**

- 1位 北海道 70,900t
- 2位 青森県 44,700t
- 3位 長野県 6,430t

だいこん

青森県割合 **10%**

- 1位 千葉県 135,800t
- 2位 北海道 127,000t
- 3位 青森県 110,000t

りんご

青森県割合 **61%**

- 1位 青森県 370,500t
- 2位 長野県 106,400t
- 3位 岩手県 36,700t

出典：農林水産省「作物統計調査」

農林水産統計データ等活用支援やデータの照会等お気軽にご相談ください。

まふナビへは
こちらから→



問い合わせ先：東北農政局青森県拠点 分析担当

青森市長島一丁目3-25（青森法務総合庁舎4F）

電話：017-775-2151